

令和二年四月十四日受領
答弁第一五八号

内閣衆質二〇一第一五八号

令和二年四月十四日

内閣総理大臣 安倍 晋 三

衆議院議長 大島 理 森 殿

衆議院議員初鹿明博君提出オリンピック・パラリンピック東京大会の開催と新型コロナウイルスの終息に
関する質問に対し、別紙答弁書を送付する。

衆議院議員初鹿明博君提出オリンピック・パラリンピック東京大会の開催と新型コロナウイルスの終息に関する質問に対する答弁書

一について

お尋ねについては、今後の新型コロナウイルス感染症の感染状況等にもよることから、現時点でお答えすることは困難である。

二から五までについて

二〇二〇年東京オリンピック競技大会・東京パラリンピック競技大会の開催については、安倍内閣総理大臣が令和二年四月二日の衆議院本会議において「東京大会については、私とIOCバツハ会長との電話会談において、私から、アスリートのことを第一に考え、おおむね一年程度の延期を提案し、その後、関係者の協議を経て、来年七月二十三日からの開幕が決定されたところであり、東京大会の完全な形で実施に向けて、日本のみならず、世界的に見て、新型コロナウイルス感染症の終息に向けたためを立てていく必要があります。このため、先般開催されたG7やG20で、私から、まずは現下の事態を収束させるため、国際社会とともに治療薬やワクチンの開発に全力を挙げて取り組むことを強く主張し、合意を得

たところでもあります。政府としては、こうした取組をあわせて行うことを通じて、世界のアスリートが万全のコンディションでプレーを行い、観客の皆さんにとっても安全で安心な大会を目指し、人類が新型コロナウイルスに打ちかったあかしとして東京大会を完全な形で実施できるよう、今後とも、IOC、大会組織委員会、東京都等と緊密な連携のもと、開催国としての責任をしっかりと果たしてまいります。」と述べているとおりである。